

～盛岡市内事業所における女性活躍推進の現状と課題～

平成30年地域政策研究センター地域協働研究【ステージⅠ】採択課題

課題名：女性活躍推進が地域活性化に与える影響について

研究代表者：社会福祉学部 准教授 吉田仁美

課題提案者：盛岡市市民部市民協働推進課男女共同参画推進室

研究メンバー：佐藤篤、澤口佐知子、田山路子（盛岡市）

技術キーワード：女性活躍、ダイバーシティ経営推進、持続可能なまちづくり、地域活性化

▼研究の概要（背景・趣旨）

女性活躍推進など「誰もが活躍できる」職場づくりを進めることで、人口減少など急激な社会変化に直面しても、豊かで活力あふれる持続可能な地域社会を形成できるという観点から、盛岡市では、市内事業所における女性活躍推進の現状と課題を調査し、今後の施策展開に生かすこととした。

▼研究の内容（方法・対象等）

【調査1】事業所へのアンケート調査
（平成30年9月1日～9月30日）
回収数は100件（回収率等15.7%）

【調査2】女性従業員へのインタビュー調査
（平成30年11月6日～11月13日）
調査の同意を得られた市内3事業所とその女性従業員5名に対し、個別に調査を実施。

調査内容の中間報告会（11月）、最終報告会（2月）を行い、市内事業所等の皆様と意見交換を行った。

▼研究の成果（結論・考察）

- 1.調査回答の約4割（36事業所）が「女性活躍推進を今後検討したい」と前向き回答。潜在的取組意欲のある事業所が一定数存在。
- 2.市内事業所の女性活躍推進の課題（最多）は「管理職の認識・意識・マネジメントスキル向上」。次に「一般女性従業員の意識改革・キャリア形成支援」。
- 3.市に求める支援では、多い順から「保育・介護サービスの充実」「先進的取組事例紹介」「スキルアップセミナー実施」。
- 4.女性が抱く女性活躍推進のイメージが多様。多様なロールモデルとの出会いが求められる。

▼おわりに（まとめ・今後の展開）

- 1.本研究で得られた考察を基に、盛岡市における女性活躍推進計画を策定し、具体の事業を展開する。
- 2.「女性活躍推進」に対する働く女性たちの捉え方が多様（良・悪・プレッシャー・とまどいなど）。また、女性社員の遠慮・不安・自信のなさ（機会・経験・ロールモデル少）が見受けられた。管理職になることだけが女性活躍推進ではなく、働く場面において、一人一人の女性が、その人らしく意欲と能力を最大限発揮できる環境の実現を目指すことが、盛岡市の女性活躍推進に求められている。

結果1 女性活躍推進を経営指針等で明示しているか

経営指針等の明示の状況	事業所数	割合
① 明示しており対外公表している	15	16.9%
② 明示しているが対外公表していない	3	3.4%
③ 明示していないが、現在検討中または今後検討したい	36	40.4%
④ 当面明示する予定はない	27	30.3%
⑤ その他（ ）	8	9.0%
合計	89	100.0%

結果2 事業所における女性活躍推進の課題



結果3 盛岡市へ求める取組や支援



※調査実施にあたり、ご協力いただいた盛岡商工会議所、調査協力事業所等の皆様に感謝申し上げます。